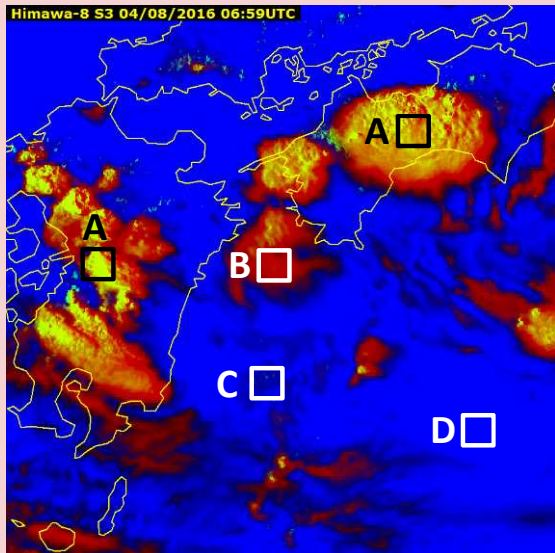


ディ・ディープ・クラウドズ

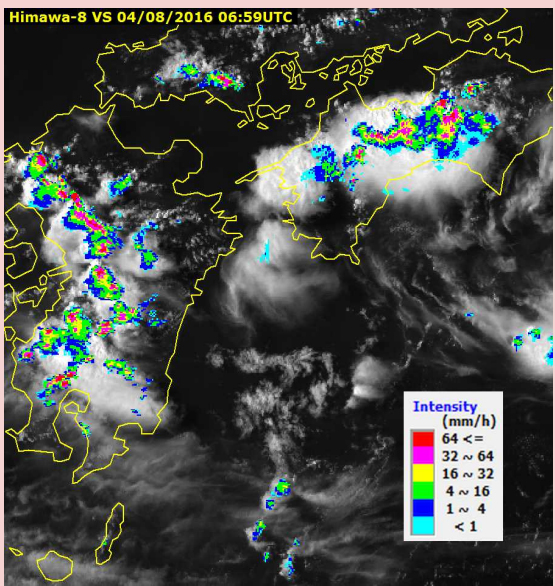
Himawari Day Deep Clouds

(日中積乱雲域) RGB クイックガイド



九州・四国付近における対流雲事例の比較。

上図はDay Deep Clouds RGB合成画像、下図は可視画像にレーダー降水強度を重ねたもの。(2016年8月4日 16時(JST:日本標準時))



- A ■ : オーバーシュートしたCb等を含む厚い雲域
- B ■ : 厚い雲域
- C ■ : 薄い上層雲域
- D ■ : 海

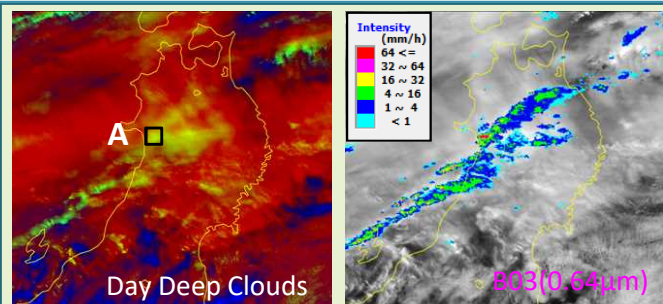
おもな利用用途: 雲頂がオーバーシュートした積乱雲などを含む厚い雲域を強調表示する。

利点:

- 厚い雲域(オーバーシュートしたCbなど)の識別に有用。
- 旧世代の気象衛星(ひまわり5号以降)に搭載されたバンドと同等のバンドの画像のみで構成される。
- そのためWIS SATAIDサービス(GISC Tokyo)利用者やMTSATによる過去の観測画像でも表示できる。
- 既存のRGB(Day/Night/24-hour Microphysics RGB)と色解釈が類似しており、既存RGBの利用者にも把握しやすい。

注意点:

- 日中のみ利用可能。
- 本RGBからは雲の粒径や相といった雲微物理の詳細な情報は得られない。
- (特に層の薄い)下層雲・霧の解析は困難。



秋田県秋田市における突風(竜巻)の事例(2016年10月31日 12時28分(JST))

可視画像とレーダー観測(右)では上層雲の下の発達した雲域が透けたところに強いレーダーエコー。Day Deep Clouds RGB合成画像(左)では上層雲の下の雲域が黄色色で表示され、レーダーエコーとの対応が良い事例。

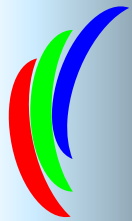
A ■ : 上層雲が重なった対流雲域

Day Deep Clouds RGB 合成画像の推奨設定(調整レシピ)および各色を構成する画像特性

色	AHI 観測バンド	中心波長 [μm]	Min [K/%]	Max [K/%]	ガンマ値	関連する観測特性	色調への寄与が比較的小さい観測対象	色調への寄与が比較的大きい観測対象
赤 Red	B13-B08	10.4-6.2	-5.0K	35.0K	1.0	雲頂の温度	薄い雲	厚い雲(雲頂がオーバーシュート)
緑 Green	B03	0.64	70%	100%	1.0	雲の光学的厚さ 雲頂のきめ	薄い雲	厚い雲
青 Blue	B13 (反転)	10.4	243.6K	292.6K	1.0	雲頂の温度 地表面の温度	温度の低い雲	温度の高い地表面

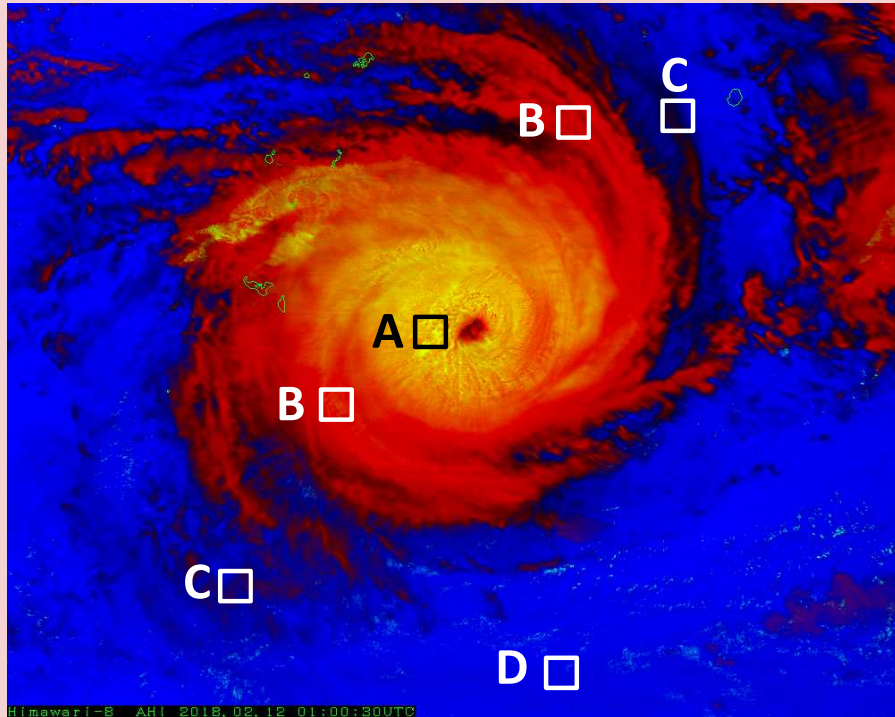
Himawari Day Deep Clouds

(日中積乱雲域) RGB クイックガイド

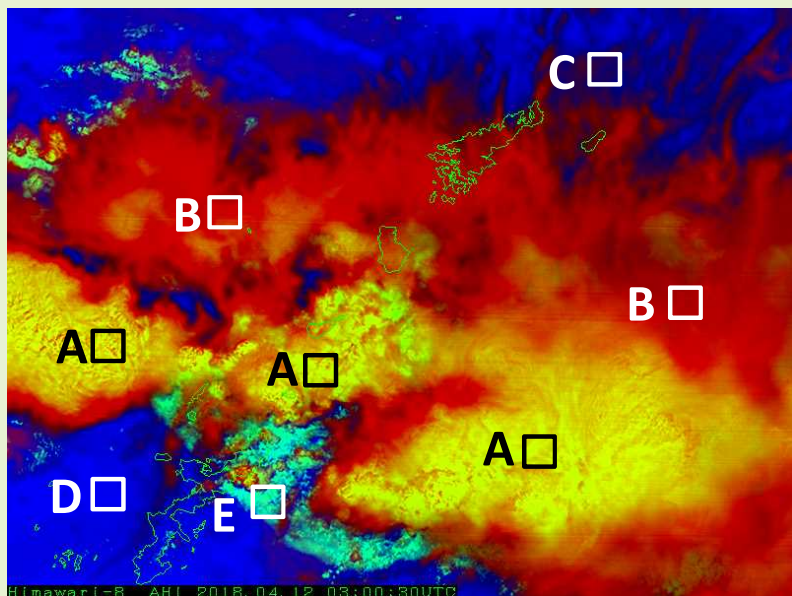


トンガ付近におけるサイクロンの事例。(2018年2月12日 10時(JST))

- A ■: オーバーシュートしたCb等を含む厚い雲域
- B ■: 厚い雲域
- C ■: 薄い上層雲域
- D ■: 海



Himawari-8 AHI 2018.02.12 01:00:30UTC



Himawari-8 AHI 2018.04.12 03:00:30UTC

奄美・沖縄諸島付近における発達中の積乱雲域。(2018年4月12日 12時(JST))

厚い下層雲(図中E)は、付近の積乱雲からのガストフロントが周辺の暖湿気とぶつかって形成されたアーククラウドに対応するとみられる。

- A ■: オーバーシュートしたCb等を含む厚い雲域
- B ■: 厚い雲域
- C ■: 薄い上層雲域
- D ■: 海
- E ■: 厚い下層雲域

Day Deep Clouds RGB 合成画像の色解釈

表示色	解釈
■	厚い雲
■	オーバーシュートした厚い雲
■	薄い上層雲
■	陸・海

注: 色調解釈については調査のため将来修正の可能性あり。